

全国都市再生モデル調査概要様式

1.応募団体名	特定非営利活動法人 羅針盤 担 当:白川皓一 TEL(0143)25-1234ヤマコしらかわ 連絡先 :TEL 0143-25-1234 (ヤマコしらかわ) E - mail shirakawa@genkimura-market.co.jp
2.調 査 名	エンターテインメントな港まちづくり調査
3.推薦団体名	室蘭市
4.調査の対象地域	
(1) 対象となる行政 区域 名、地区名等	北海道室蘭市 蘭西地区 (母恋? 祝津)
(2) 対象となる行政 区域及 び地区の特徴	室蘭市人口 約10万人 住居・工場・港・商店街混在地域
5.提案した活動の内容	
(1) テーマ、課題	市民・住民及び観光客を対象に、室蘭の「みなと」文化に対するシーズとニ ーズを明らかにし、豊かな歴史時間と魅力的な産業・生活空間が 融合し た新しいまちづくりの方向性を把握し、市民及び観光客の「室蘭のみなと」 文化への関心・意識づくりに役立てるものとするため、調査を行う
(2) 本調査費による活動内 容の概要 (提案者の活動)	本調査費により行われた活動内容の概要 1.みなとまち室蘭観光資源シーズ調査 (平成15年11月～12月) 一般市民56名がアンケートに回答 小学生・中学生55名がアンケートに回答 2.函館まちづくり市民・団体意見交換会 / 視察研修 (平成15年11月21日・22日) 函館市役所港湾部訪問・意見交換 / 函館港内視察 / 函館港湾建設事務所訪問・意見交換 / 市民団体と意見交換 / 函館港 BAYエリア視察 3.港立大学設立準備セミナー 計2回開催 (平成15年11月29日、平成16年1月14日) 参加者 平均約58人 4.みなとまち室蘭の生活文化聞き取り調査 (平成15年12月10日～12月16日) 室蘭市民各界代表者10人に訪問面接

- 5.室蘭市観光資源総合台帳作成
(平成15年12月～平成16年1月)
公開資料・文献による自然・歴史・文化・ヒックスの
データベース作成
- 6.小樽・函館まちづくり団体来蘭及び意見交換会
(平成16年1月14日)
小樽3名・函館3名参加。
室蘭市内視察 / 室蘭港内視察 / 意見交換
- 7.小樽まちづくり市民・団体意見交換会 / 視察研修
(平成16年1月23日・24日)
小樽市内視察 / 小樽港視察 / 資料館見学 /
小樽港湾建設事務所訪問・意見交換 /
市民団体と意見交換

函館視察風景



小樽視察風景



第1回セミナー風景



第2回セミナー風景



小樽・函館まちづくり団体意見交換会風景



<p>6.本調査と関連する活動実績 (提案者とは別主体の活動)</p>	
<p>7.本調査の成果等、本調査の実施過程で顕在化した課題など</p>	<p>1.本調査の実施過程で得られた成果 市民の生活の意識と歴史の中から、室蘭の港および海を起源とする有形・無形の資産を数多く発掘、体系化できた。 街づくりへの市民の参加意識と、港への親近感を高めることができた。 広く外海までを含めて港全体をとらえる視点の必要性が明らかになった。 工業資産を活かした「産業観光」、職人文化を活かした「体験型学習観光」という新しい方向性が明確になった。 新しい滞在型観光の開発の可能性が明らかになった。</p> <p>2.本調査の実施過程で得られた課題 企業との連携の仕組みと協力体制づくり 職人・伝統文化の保存と継承の仕組みづくり 観光資源の体系的な整備計画と費用の検討 観光資源の開発に際しての民間活力・資本の導入 市民・観光客への効果的なPR</p>